

平成 19 年を川柳で振り返る

北野寿囲碁同好会 安原 明

私が碁楽連(旧碁老連)に参加させて頂いてから丁度 3 年がたちました。お陰さまで皆様と楽しく対局できて喜んでおります。19 年は対人対局数 337 の新記録を達成しました。ただし勝率は 5 割 8 分とどうやら勝ち越せた程度でした。囲碁のほかに俳句と川柳をやっていますが、こちらの方も年間 300 句ほど作りました。そこで月 1 句ずつの川柳をご披露いたします。出来は余り良くありませんが、共感して頂ければ幸いです。

- 1 月 暖冬は 高齢者への 思し召し
- 2 月 退職後 独り渡る 恐さかな (団塊の世代)
- 3 月 歌舞演で 打ち出でにけり 花のパリ (歌舞伎公演)
- 4 月 銃射 発砲事件 誘発し (米国より日本へ)
- 5 月 モンゴルへ 日本の土俵 明け渡す
- 6 月 都心でも 温泉も出る ガスも出る (爆発事故)
- 7 月 原発も 車も揺する 大地震 (新潟県中越沖地震)
- 8 月 猛烈に 気温上昇 株降下 (熊谷、多治見で 40.9 度 C)
- 9 月 一郎に 虐められたと 総理辞め
- 10 月 赤福の 製造人は 黒い腹
- 11 月 日本も サブプライムで サプライズ
- 12 月 水入れて 濡れ手で粟の 商社かな (防衛省疑惑)
- 番外 山下の 扇子勝利 呼び寄せる (囲碁大会優勝)



(碁楽連だより 第 198 号 2008 年 1 月 26 日)